

環境の変化に対応し、社会のニーズに応える製品・サービスの提供に努めてまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第121期第2四半期連結累計期間(2021年5月1日から2021年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

2022年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や、外出自粛の影響で外食産業向けの高級魚や水産物などの需要が減少し魚価が低迷したことから、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの漁業関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化で、漁業資材の受注が減少したことや定置網部門の製商品の一部の納品が第3四半期以降にずれ込んだこと等により、売上高が減少しました。

また、前期より引き続き海外での営業活動が制約され、商談が思うように進まず、海外の売上高も減少しました。陸上関連事業では、獣害防止ネットや防鳥ネット等の陸上ネットの受注は好調でしたが、新型コロナウイルス対策としての防虫網の需要が一段落したことで売上高は前年同期と比べて減少しました。営業利益は、計画的な生産活動を行い、製造原価圧縮等の経費削減に努めましたが、原材料価格の上昇や主力の定置網部門の売上高が減少したことの影響が大きく、前年同期と比べて減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,722百万円(前年同期比7.8%減)、営業損失は12百万円(前年同期は352百万円の営業利益)、経常利益は18百万円(前年同期比95.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は42百万円(前年同期は269百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

2020年12月より福山で新事業所を建設しております。大規模な投資となりますが、生産機能、本社機能、研究開発機能の強化が図れ、当社の核となる事業所を目指しております。

業績面につきましては、第2四半期までは厳しい状況で

したが、第4四半期が当社グループの売上高が最も多くなる時期であり、新型コロナウイルス感染症拡大の状況にもよりますが、現時点では以下の見通しです。

漁業関連事業につきましては、定置網部門の漁業資材の納品が第3四半期以降多くなる見込みであることや緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、国内の営業活動が通常の状態となり、商談が進展してきており、下半期以降は需要拡大を見込んでおります。また、オリジナル商材の販売を積極的に行い、お客様のニーズに合った提案を行っていき、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、獣害防止ネットは、引き続き安定した受注を見込んでおります。また、同事業の主力商品である防災関連の落石防止ネットや防鳥ネット、遊具、アスレチックネット等を中心に積極的に拡販してまいります。

2022年4月期の通期業績につきましては、売上高19,200百万円、営業利益730百万円、経常利益710百万円、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円を見込んでおります。配当につきましては、第121期の期末配当金として1株当たり50円を予定しております。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

漁業関連事業

6,183百万円 (80.07%)

売上高は6,183百万円(前年同期比8.6%減)となりました。主な要因は、定置網部門の製商品の一部の納品が第3四半期以降にずれ込んだことや前期に引き続き海外での営業活動が制約され、商談が思うように進まず、現地生産分を含め海外の売上高が減少したこと等によるものです。利益面は、主力の定置網部門の売上高が減少したこと等により、セグメント損失は33百万円(前年同期は348百万円のセグメント利益)となりました。

事業紹介



養殖網



海苔網



ロープ

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁網の設置や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。

その他
43百万円
(0.56%)

陸上関連事業

1,495百万円 (19.37%)

売上高は1,495百万円(前年同期比6.9%減)となりました。主な要因は、獣害防止ネットや防鳥ネットの受注は好調でしたが、新型コロナウイルス対策としての防虫網の需要が一段落し、売上高が減少したこと等によるものです。利益面は、前期増加した防虫網部門の経費が落ち着いたこと等により、セグメント利益は20百万円(前年同期比357.1%増)となりました。

事業紹介



飛散防止ネット



防球ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しております。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっております。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応してまいります。



遊具ネット

